

令和 3 年 3 月 4 日

令和 2 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 松村直人

活動テーマ	鈴鹿川等源流の森林づくり活動の支援
実施期間	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動に協力し、市内の人工林の整備方法や貴重なブナ天然林の価値や保全についての普及活動を、協議会活動や教育委員会の人材育成事業を通じて行った。また、三重大学の学生も参加して、森の地区分け（ゾーニング）を共同して行った。 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 「森林は地域の宝」と認識していただくために、ドローンの空撮写真による森林評価や森の健康診断の方法を体験してもらい、「森と水の守り人養成講座」や協議会活動を通じて、地域の森林の価値を再評価した。 (3) 共同実施者との連携状況 活動のベースとなる協議会事務局の運営や教育委員会と連携した「森と水の守り人養成講座」の実施し、来年度も継続予定である。 (4) 大学の教育・研究成果のかかわり ドローンの空撮写真を利用した森林評価手法の確立や気候変動に対応した貴重なブナ天然林の保全は急務な研究課題であり、貴重なフィールドを提供していただき、学生の教育研究、学会発表や論文投稿にも非常に貢献いただいた。 (5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等） 1. 鈴鹿川等源流の森づくり協議会 総会 R2.05（書面決議に変更） 2. 山の日イベント（R2.08.08）コロナのため中止 3. 森と水の守り人養成講座第1回講師「亀山の森づくり」R2.10.11 亀山市総合保健福祉センター、20名



養成講座でのグループワーク（参加者と学生）

4. 加太地区の自然を感じてみよう！R2. 11. 22、東海自然歩道付近



当日のスナップ（親子や約 20 名の参加）

その他、加太地区、野登地区の森林調査、ドローン空撮など。

（6）これまでの取組みによって得られた具体的な成果について
鈴鹿川等源流の森づくり協議会の活動は地元企業の資金支援も受けながら活発に展開し、市民団体、自治会、地元企業の協力のプラットフォーム

	ムに成長している。来年度も、亀山市森林管理協議会や環境審議会、教育委員会とも連携して、森づくり協議会の活動を広げ、市民への広報、普及活動を継続する予定である。
--	--